

## ICT農業推進事業

### 【事業概要】

トヨタ自動車の農業 IT 管理ツール「豊作計画」は、北海道農業での利用は初めてで、平成 28 年 12 月 19 日に実証試験を実施する団体として、士別市、JA 北ひびき、トヨタ自動車、北海道銀行、道銀総研を構成員、オブザーバーを北海道とする「ICT 営農支援システム研究プロジェクト団体」を設立。

市内の 3 法人（農事組合法人あさひ、育栄ファーム、ディリーサポート士別）で実証実験を実施、事業期間は 28 年度から 30 年度。

トヨタ自動車の開発したツール「豊作計画」と「現場改善」の実証実験により、本市での効果を検証、地域の営農支援ツールとして確立、その普及により農業経営の向上や法人化等の経営の組織化を推進し、士別市農業の経営体質の強化をめざします。

### （概要）

「豊作計画」はクラウドサービスとなっており、スマートフォンやタブレット端末から簡単に利用できる。システム中では、地図上に登録された多数の圃場を複数の作業者が効率的に作業できるように、日ごとの作業計画が自動的に作成される。この作業計画は、現場へ向かう個々の作業者のスマートフォンに配信され、作業者は GPS で作業すべきエリアを確認してから向かう。そして作業の開始、終了時にスマートフォンのボタンを押すことで、共有のデータベースに情報が集まり、広域に分散する農作業の進捗の集中管理や、作業日報や請負先へのレポートの自動作成も可能となる。

また、「豊作計画」のデータを活用し実施する、現場改善活動を取り入れることにより、日々改善に取り組む人材育成につながる。

**3 年間の実証実験の最終年度。引き続き実証実験、実証結果の取りまとめを実施中**

### 【平成 30 年度の事業内容】

農業未来都市創造事業

ICT 営農支援システム研究プロジェクト団体への補助金

予算額 9,450 千円

### （補助金の使途）

旅費：トヨタ現場改善支援・システム教育旅費・法人成果報告会旅費（愛知⇄士別）

使用料：「豊作計画」ライセンス料、トヨタ自動車基本サポート料、リース料

技術指導料：講習会

その他、需用費、役務費

## 【平成 30 年度の実証】

### ●実証をととしたトヨタ自動車のサービス内容の把握

#### ① ツール「豊作計画」のサポート

トヨタ生産方式（T P S）の農業への導入を支援するツール  
作業の遅れ進みを見える化、異常を発見する道具・・・改善ツール

#### （H30 内容）

- ・ 出社時刻・退社時刻 を記録
- ・ “圃場別” に作業内容・使用機械・オペレーター・作業開始時刻・作業終了時刻、  
使用資材を記録

#### ② 現場改善の講習

T P S のノウハウの習得

#### （H30 内容）

- ・ T P S の基本講習の実施

#### ③ 現場改善のサポート

従業員自らが問題に気づき、現場の力で改善していく組織づくりのサポート

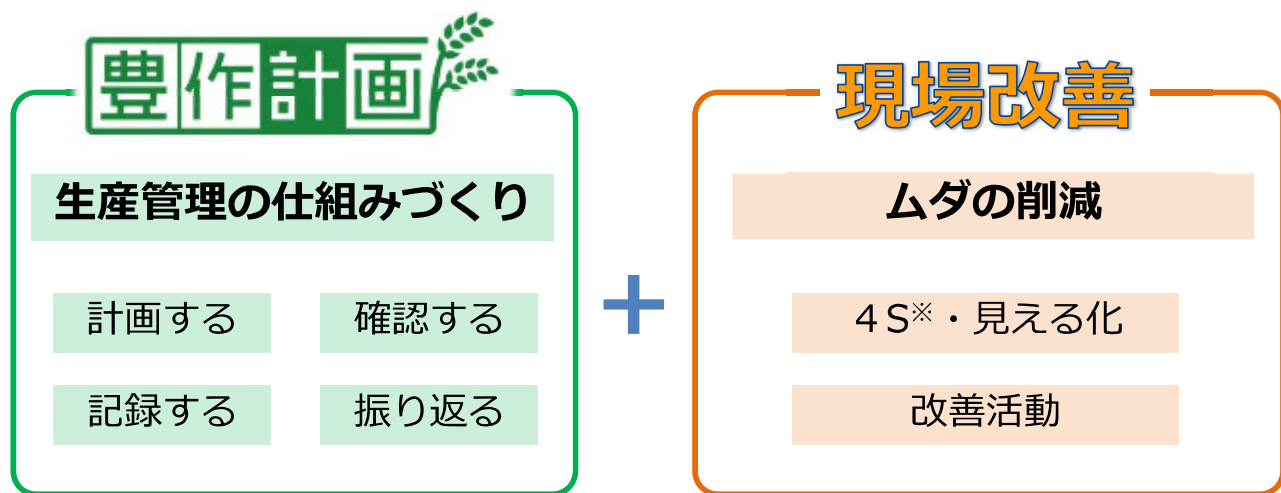
#### （H30 内容）

- ・ 小集団活動
- ・ 2 S 活動

### ●効果の検証、結果の取りまとめ

30 年度の検証、全実証実験を通じた効果の検証、実証結果の取りまとめを実施中

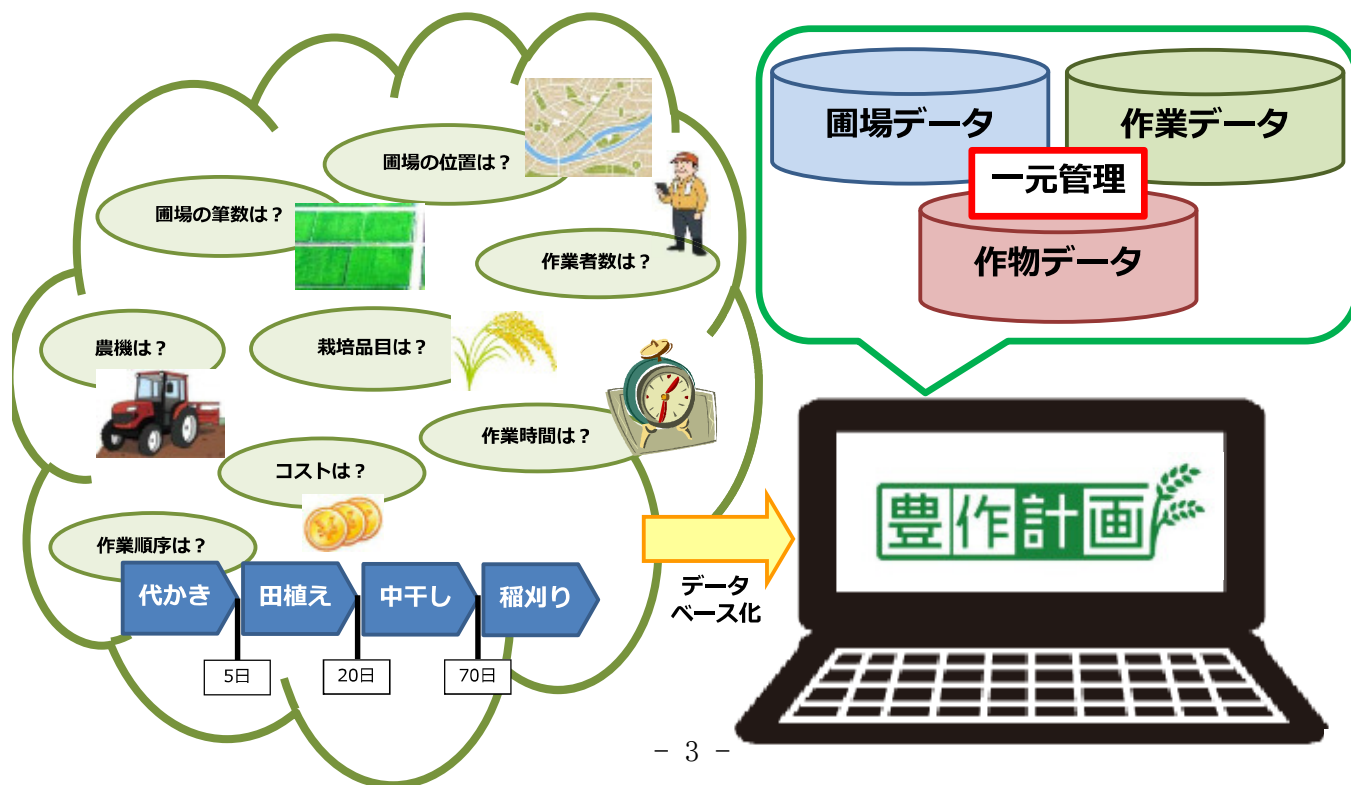
# 1-2 豊作計画とは



※4Sとは、整理、整頓、清掃、清潔のこと

## 2-1 データ集約整理

基本情報を整理し、データベース化



## 3-3 現場改善、小集団活動

### ① 現場改善

トヨタ生産方式に基づく  
改善活動の実践

〈トヨタスタッフによる現場改善の様子〉



### ② 小集団活動

小集団活動とは

従業員数名で現場の問題点について話し合い、  
自主的に改善していくこと

→現場自らの力で改善のしくみ  
を定着させる

〈従業員による小集団活動の様子〉



人材育成が図られる職場と風土づくり